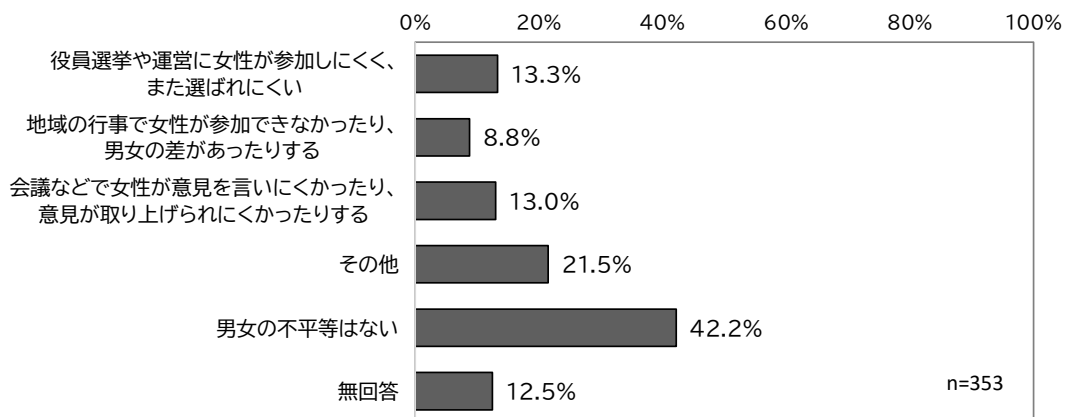


2 地域活動について

問2 あなたが住んでいる地域の活動や行事等に、男女の不平等はありますか。【あてはまるものすべてに○】

○「男女の不平等はない」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「その他」の割合が 21.5%、「役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい」の割合が 13.3%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい	47	13.3%
地域の行事で女性が参加できなかったり、男女の差があったりする	31	8.8%
会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見が取り上げられにくかったりする	46	13.0%
その他	76	21.5%
男女の不平等はない	149	42.2%
無回答	44	12.5%



その他の回答内容

わからない(10 件)、参加していない(7件)、女性の参加が少ない(2件)、高齢者優先に関すること(2件)、男性優先に関すること(2件)

いじめに関すること(1件)、障害を持っているので地域の活動や行事等に出席しない(1件)、女性が参加しにくいとかでは無く、女の人を出て来ない様に思う(1件)、地域の行事等交代に関すること(1件)、時と場合により活動が分かれる(1件)、新しい意見や提案には一切耳を傾けようと思わないと思う(1件)、特に気にしたことがない(1件)、町内会等に参加していない(1件)

(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「会議などで女性が意見を言いにくかったり、意見が取り上げられにくかったりする」と回答した割合は高く、「男女の不平等はない」が低くなっています。
- また、「男女の不平等はない」と回答した割合は、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」では全体と比較して低くなっており、「60～69歳」では高くなっていることから年代による認識の違いが見られます。

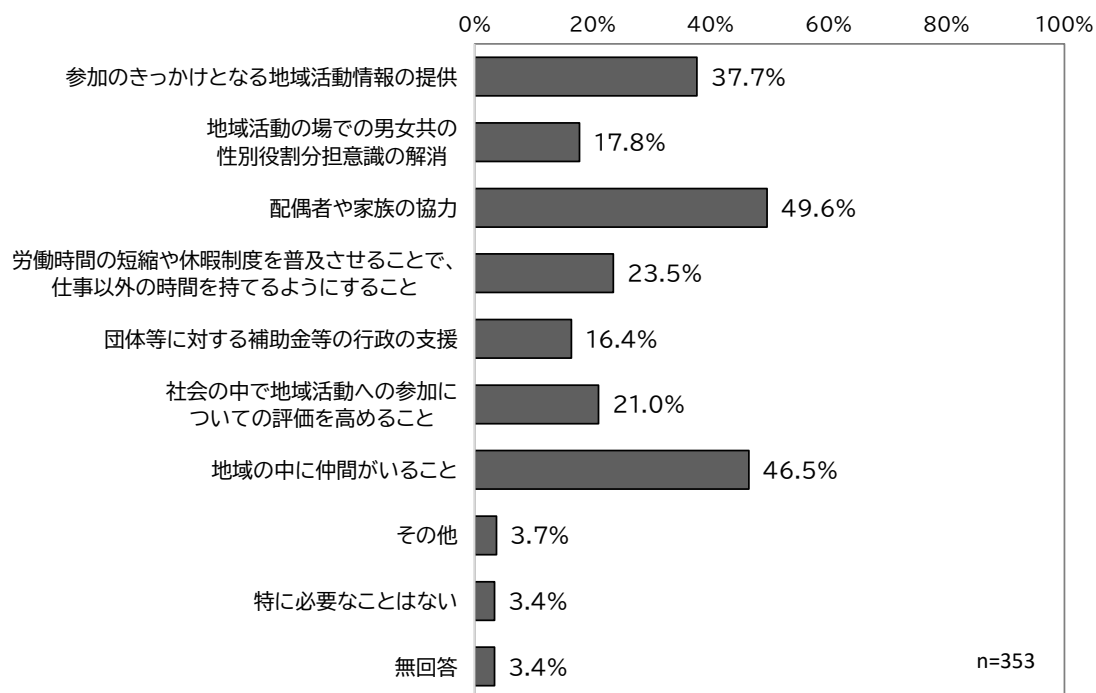
●年代別

区 分	有効回答数 (件)	役員に 加わ るに く い に く く 運 、 営 ま に た 女 選 性 ば が	差が あ つ た り す る	地域 の 行 事 で 女 性 が 参 加	た り 取 り 上 げ ら れ た に り が く 、 意 見 を	会 議 な ど で 女 性 が 意 見 を	そ の 他	男 女 の 不 平 等 は な い	無 回 答
全体	353	13.3%	8.8%	13.0%	21.5%	42.2%	12.5%		
29歳以下	25	8.0%	12.0%	24.0%	32.0%	28.0%	-		
30～39歳	26	11.5%	11.5%	11.5%	46.2%	30.8%	-		
40～49歳	35	5.7%	2.9%	11.4%	48.6%	28.6%	8.6%		
50～59歳	55	7.3%	5.5%	9.1%	29.1%	47.3%	10.9%		
60～69歳	71	14.1%	11.3%	5.6%	15.5%	52.1%	8.5%		
70～79歳	93	20.4%	7.5%	18.3%	9.7%	43.0%	18.3%		
80歳以上	46	15.2%	13.0%	15.2%	6.5%	43.5%	23.9%		

問3 男性と女性がともに地域の活動や行事等に積極的に参加するためには、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるもの3つまでに○】

○「配偶者や家族の協力」の割合が49.6%と最も高く、次いで「地域の中に仲間がいること」の割合が46.5%、「参加のきっかけとなる地域活動情報の提供」の割合が37.7%となっています。

調査数(n=353)	回答数	割合
参加のきっかけとなる地域活動情報の提供	133	37.7%
地域活動の場での男女共の性別役割分担意識の解消	63	17.8%
配偶者や家族の協力	175	49.6%
労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること	83	23.5%
団体等に対する補助金等の行政の支援	58	16.4%
社会の中で地域活動への参加についての評価を高めること	74	21.0%
地域の中に仲間がいること	164	46.5%
その他	13	3.7%
特に必要なことはない	12	3.4%
無回答	12	3.4%



その他の回答内容

性別にかかわらず、体力、能力に応じた協力体制を整える(1件)、参加の意欲を高める魅力ある活動を計画する(1件)、人と違うことを邪険にせず個性であると理解しようと歩み寄る(1件)、地域活動の意義について啓蒙する(1件)、日常的近所付き合いに関すること(1件)、移住者受入れ対応に関すること(1件)、個人の性格を尊重する(1件)、職場の理解に関すること(1件)、参加者への時間に応じた対価に関すること(1件)、わからない(1件)

(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合は高く、「社会の中で地域活動への参加について評価を高めること」「地域の中に仲間がいること」が低くなっています。
- 「30～39歳」では、全体と比較して「参加のきっかけとなる地域活動情報の提供」と「社会の中で地域活動への参加について評価を高めること」「地域の中に仲間がいること」と回答した割合は低く、「配偶者や家族の協力」が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「地域活動の場での男女共の性別役割分担意識の解消」「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「配偶者や家族の協力」「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合が低くなっています。
- 「60～69歳」では、全体と比較して「社会の中で地域活動への参加について評価を高めること」と回答した割合が高くなっています。
- 「70～79歳」では、全体と比較して「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」と回答した割合が低くなっています。
- 「80歳以上」では、全体と比較して「配偶者や家族の協力」と回答した割合が高くなっています。
- 婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「配偶者や家族の協力」と回答した割合は低く、「労働時間の短縮や休暇制度を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること」が高くなっています。

●年代別

区 分	有効回答数（件）	参加のきっかけとなる地域活動情報の提供	地域活動の場での男女共 の性別役割分担意識の解	配偶者や家族の協力	労働時間の短縮や休暇制 度を普及させることで、 仕事以外の時間を持てる ようにすること	団体等に対する補助金等 の行政の支援	社会の中で地域活動への 参加についての評価を高 めること	地域の中に仲間がいるこ と	その他	特に必要なことはない	無回答
全体	353	37.7%	17.8%	49.6%	23.5%	16.4%	21.0%	46.5%	3.7%	3.4%	3.4%
29歳以下	25	32.0%	24.0%	48.0%	40.0%	8.0%	8.0%	32.0%	12.0%	-	-
30～39歳	26	26.9%	15.4%	65.4%	30.8%	11.5%	11.5%	34.6%	3.8%	11.5%	-
40～49歳	35	31.4%	8.6%	45.7%	37.1%	17.1%	25.7%	40.0%	-	-	5.7%
50～59歳	55	40.0%	25.5%	34.5%	32.7%	21.8%	14.5%	49.1%	5.5%	5.5%	-
60～69歳	71	35.2%	21.1%	53.5%	21.1%	14.1%	32.4%	46.5%	4.2%	2.8%	1.4%
70～79歳	93	46.2%	14.0%	47.3%	10.8%	16.1%	22.6%	53.8%	3.2%	1.1%	5.4%
80歳以上	46	37.0%	17.4%	60.9%	17.4%	21.7%	17.4%	47.8%	-	4.3%	8.7%

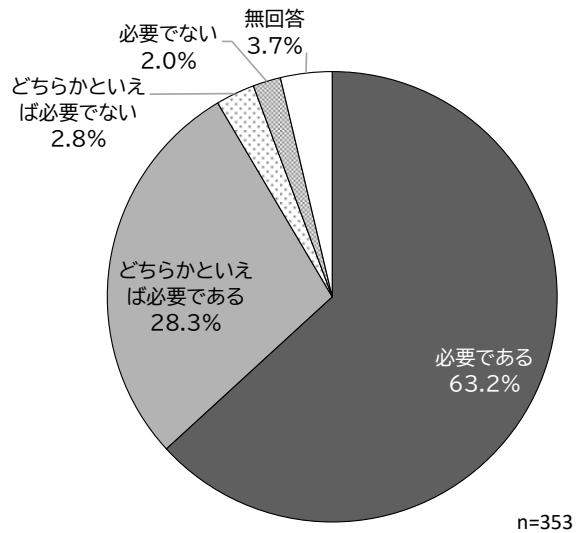
●婚姻別

区 分	有効回答数（件）	域参加のきっかけとなる地活動情報の提供	消の地域別役割分担意識の男女共	配偶者や家族の協力	仕事を普及させることで、仕事以外の時間を持てるようにすること	労働時間の短縮や休暇制	団体等に対する補助金等の行政の支援	める参加についての地域活動への評価を高めること	と地域の中に仲間がいること	その他	特に必要なことはない	無回答
全体	353	37.7%	17.8%	49.6%	23.5%	16.4%	21.0%	46.5%	3.7%	3.4%	3.4%	
結婚している（事実婚を含む）	224	36.2%	16.1%	56.3%	22.3%	17.4%	22.8%	46.0%	3.1%	3.6%	2.7%	
結婚していたことがある（死別、離別）	62	41.9%	17.7%	40.3%	14.5%	19.4%	16.1%	53.2%	3.2%	3.2%	6.5%	
結婚していない	64	40.6%	25.0%	35.9%	35.9%	10.9%	20.3%	42.2%	6.3%	1.6%	1.6%	

問 4 あなたは防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。【あてはまるもの1つだけに○】

○「必要である」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば必要である」の割合が 28.3%となっています。

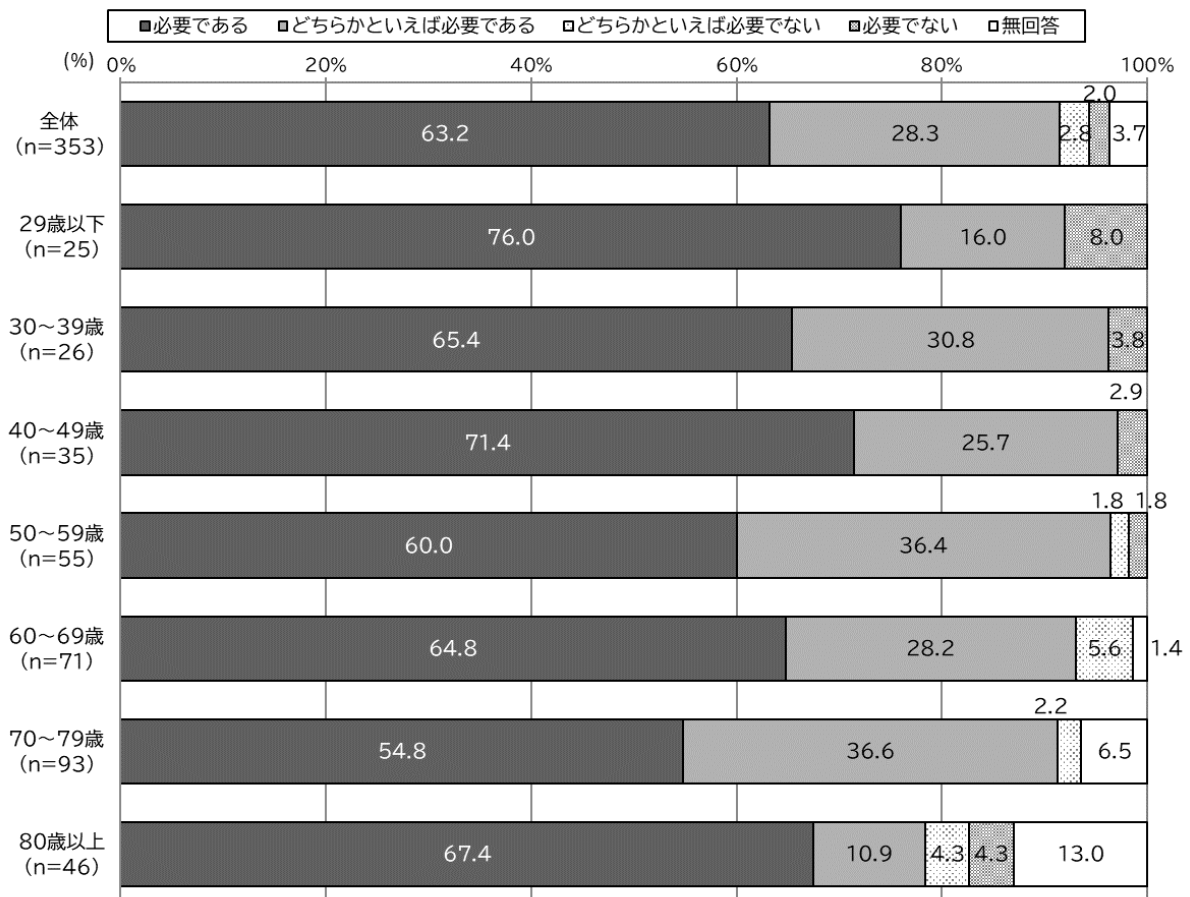
調査数(n=353)	回答数	割合
必要である	223	63.2%
どちらかといえば必要である	100	28.3%
どちらかといえば必要でない	10	2.8%
必要でない	7	2.0%
無回答	13	3.7%



(参考) クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「必要である」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

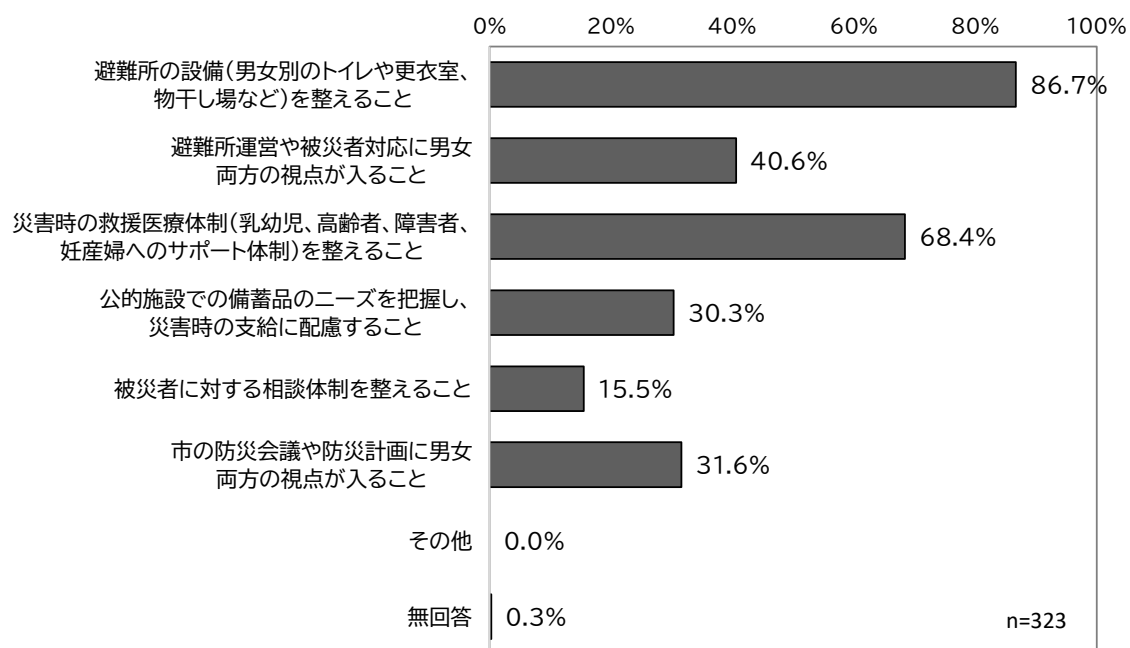


《問4で「1 必要である」「2 どちらかといえば必要である」と答えた方におたずねします》

問5 防災・災害復興対策において、性別に配慮したどのような対応が必要だと思いますか。【あてはまるもの3つまでに○】

○「避難所の設備(男女別のトイレや更衣室、物干し場など)を整えること」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)を整えること」の割合が 68.4%、「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」の割合が 40.6%となっています。

調査数(n=323)	回答数	割合
避難所の設備(男女別のトイレや更衣室、物干し場など)を整えること	280	86.7%
避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること	131	40.6%
災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)を整えること	221	68.4%
公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること	98	30.3%
被災者に対する相談体制を整えること	50	15.5%
市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること	102	31.6%
その他	-	-
無回答	1	0.3%



(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」と回答した割合は高く、「市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること」が低くなっています。
- 「30～39歳」では、全体と比較して「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」「市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること」と回答した割合は低く、「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)を整えること」と回答した割合は高く、「被災者に対する相談体制を整えること」が低くなっています。
- 「60～69歳」では、全体と比較して「避難所の設備(男女別のトイレや更衣室、物干し場など)を整えること」「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」と回答した割合は高く、「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」が低くなっています。
- 「70～79歳」では、全体と比較して「被災者に対する相談体制を整えること」と回答した割合が高くなっています。
- 婚姻別では、「結婚していない」で全体と比較して「公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

区 分	有効回答数(件)	避難所の設備(更衣室、物干し場など)を整えること	避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること	災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)を整えること	公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること	被災者に対する相談体制を整えること	市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること	その他	無回答
全体	323	86.7%	40.6%	68.4%	30.3%	15.5%	31.6%	-	0.3%
29歳以下	23	87.0%	34.8%	69.6%	60.9%	8.7%	17.4%	-	-
30～39歳	25	88.0%	20.0%	68.0%	52.0%	12.0%	12.0%	-	-
40～49歳	34	88.2%	38.2%	79.4%	23.5%	2.9%	38.2%	-	-
50～59歳	53	88.7%	39.6%	67.9%	32.1%	22.6%	30.2%	-	-
60～69歳	66	95.5%	53.0%	68.2%	16.7%	10.6%	34.8%	-	-
70～79歳	85	81.2%	42.4%	62.4%	27.1%	25.9%	35.3%	-	-
80歳以上	36	77.8%	33.3%	72.2%	33.3%	8.3%	36.1%	-	2.8%

●婚姻別

区 分	有効回答数(件)	避難所の設備(更衣室、物干し場など)を整えること	避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること	災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)を整えること	公的施設での備蓄品のニーズを把握し、災害時の支給に配慮すること	被災者に対する相談体制を整えること	市の防災会議や防災計画に男女両方の視点が入ること	その他	無回答
全体	323	86.7%	40.6%	68.4%	30.3%	15.5%	31.6%	-	0.3%
結婚している(事実婚を含む)	207	87.4%	40.6%	65.7%	26.6%	16.9%	33.3%	-	-
結婚していたことがある(死別、離別)	55	83.6%	40.0%	69.1%	32.7%	14.5%	29.1%	-	1.8%
結婚していない	60	86.7%	40.0%	76.7%	41.7%	11.7%	28.3%	-	-